

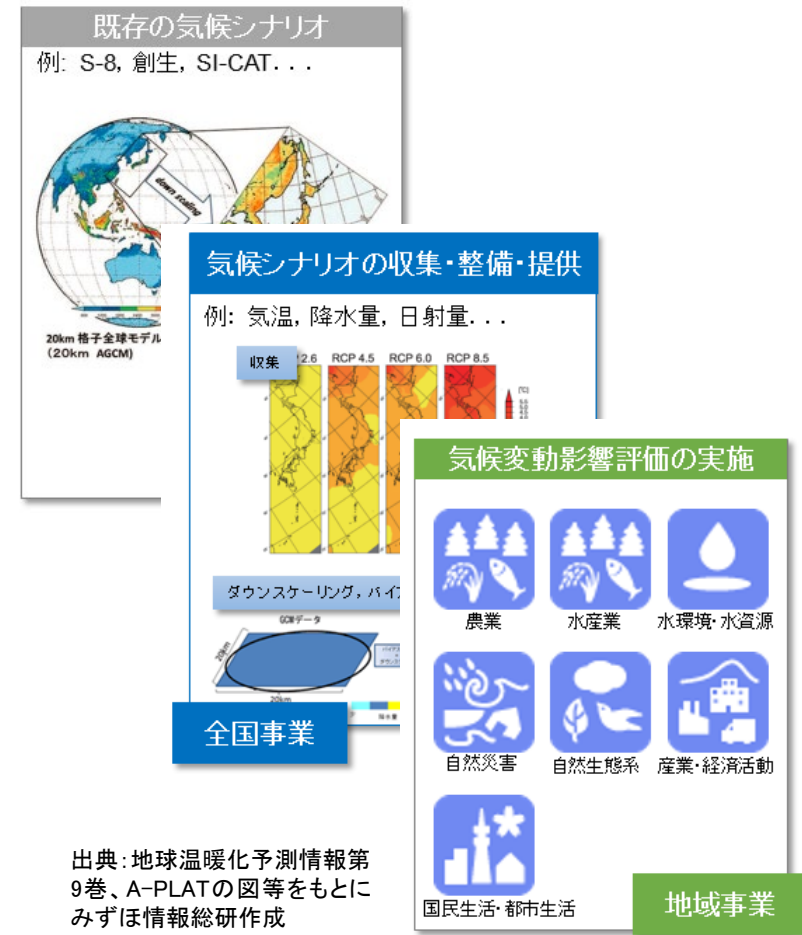
# 【計画】0-1 地域適応コンソーシアム事業で共通的に使用する気候シナリオの整備

## ■ 調査目的

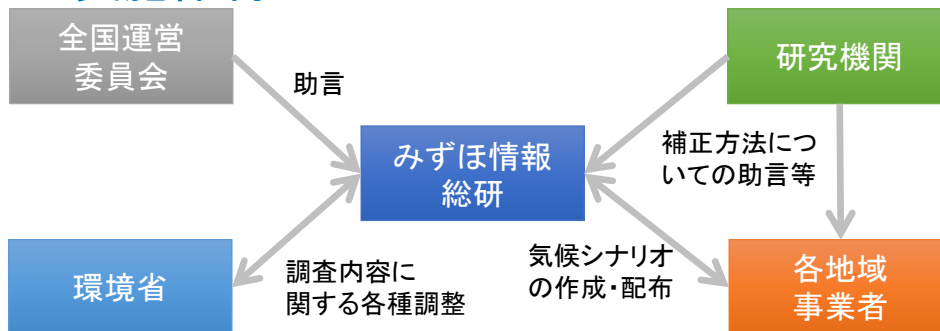
- 気候変動影響評価を実施する際に気候シナリオが必要となる。本事業では国のプロジェクト等において既に開発されている気候シナリオを活用する。
- 既存の気候シナリオ情報を整理の上、全国／地域事業で統一的に使用する気候シナリオを収集・整備し提供する。必要に応じてバイアス補正等を実施する。

## ■ 調査計画

年度	主な調査項目
H29年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 既存の気候シナリオ情報の収集・整理</li> <li>• 気候シナリオの整備計画の作成</li> <li>• 気候シナリオのサンプル(試行計算用)データの配布</li> </ul>
H30年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 気候シナリオの収集・配布</li> <li>• 収集したデータのうち、力学的ダウンスケールデータを対象に、必要に応じてダウンスケール及びバイアス補正を実施</li> </ul>
R元年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>• H30年度以降に明らかとなったニーズや問題点に対応した気候シナリオの作成、配布等</li> </ul>



## ■ 実施体制



出典：地球温暖化予測情報第9巻、A-PLATの図等をもとにみずほ情報総研作成